

中小企業地域資源
活用促進法に基づく



ふるさと名物
Furusato Meibutsu

熊本県美里町
が応援するふるさと名物

美里式フットパスツーリズムを
核とする観光商品群

わが市町村の
ふるさと名物は
これ!





ふるさと名物
Furusato Meibutsu

平成30年3月1日

応援宣言

熊本県美里町

地域の
プロフィール



美里町は平成16年11月1日熊本県下益城郡「中央町」と「砥用町」の2町合併により誕生しました。

当町は熊本県及び九州の中央部に位置しており、熊本市から南東へ約30km、車で約40分程度の距離にある人口10,329人(H30. 1月末現在)、総面積(144.03km²)の約4分の3(107.59km²)を森林が占める典型的な中山間地域です。西部地域に一部平坦地が見られますが、概して宅地や農地は少なく、住宅地は地域を東西に横切る国道218号をはじめとする主要道路に沿って点在し、農地もその大部分が丘陵地や傾斜地で、棚田等として利用されています。

観光面では、日本一の石段や江戸時代に架橋された石橋群といった観光資源や棚田などの素晴らしい田園風景が残されています。



①美里フットパス

森林や田園地帯、古い町並みなど地域の昔からあるありのままの風景を楽しみながら歩く【Foot】ことができる小径（こみち）【Path】のこと。イギリスが発祥の地とされており、日本各地においても市民団体、自治体を中心に整備が進められている『歩く』をテーマにしたアクティビティです。

美里町は先進地として、九州初のフットパスを2011年に導入、以来6年が経過しましたが、今まで多彩なフットパスが発掘、整備されています。

また、その間に地域住民のフットパスに対する理解が深まり、「フットパスを笑顔で迎え、触れ合い交流する」雰囲気の醸成が広く地域住民に浸透しています。美里フットパスは、里山や古い町並みなど昔からあるありのままの風景に加えて、地域住民のふれあいや交流を楽しみながら歩くことができる点が特徴です。



②国指定重要文化財 霊台橋をはじめとする石橋群

美里町内には、国の重要文化財「霊台橋」をはじめとする35基の石橋群が点在し、古いものは180年前に造られています。近年では「二俣橋」ハートができる石橋として話題となっています。

※二俣橋のハートは10月から2月の太陽の位置が低い時期、晴れた日の11時30分から1時間程度の間に見ることができます。



③御坂遊歩道『日本一の石段』



西の高野山といわれる金海山大恩教寺釈迦院の表参道である御坂に、世紀の文化遺産として後世に残すと共に町の活性化を図るための観光の目玉、町おこしのシンボルとして、日本一の段数である3,333段の石段が建設されました。

春夏秋冬の景色を楽しみながら、頂上で味わえる爽快感を求めて多くの町民、観光客が訪れます。

④佐俣温泉

道の駅美里『佐俣の湯』施設内には、天然温泉施設、休憩所、レストラン、農産物加工所、直売所があり、宿泊施設(さまたんロッジ)も完備されています。各種体験教室も開催され、レストランで出される地元食材を使った「あか牛のステーキ丼」、「お元気だご汁御膳」は人気メニューです。



天然温泉 元湯 佐俣の湯は、源泉を100%利用した天然温泉(かけ流し温泉)です。六畳の休憩室のある家族湯(5部屋)と露天風呂をはじめ、温泉プールやお食事処など各種憩いの場を提供しています。

フォレストアドベンチャー・美里

緑川ダム湖畔という絶好の景観も活かした森林体験型アウトドアパークです。

日本初のダム湖を横断する往復距離920mのジップスライドで絶景が楽しめるジップトリップコースと、高さ15mからの垂直落下するミノムシシュートなど迫力満点の40種類のアクティビティーで冒険気分が味わえるアドベンチャーコースの2コースを設置しています。

雄大な景色を望み、大人から子どもまで自然と親しみながら、ダイナミックなアウトドアを楽しむことができます。



美里式フットパスツーリズムを核とする観光商品群

美里式フットパスツーリズムを通して地域資源のパッケージ化を行い観光商品の開発を行うとともに地域ブランドとして定着させます。

【今後の具体的な取り組み】

- ①顧客満足度を高め集客実績を拡大を図ります。
- ②地域住民による積極的な参画促進及びホスピタリティ向上等受け入れ体制強化による既存コースの磨き上げを行います。
- ③有料ガイドの育成によるガイド付き商品を開発します。
- ④他地域にない先進性のある車いす利用者やインバウンド向けコース等を開発します。
- ⑤季節ごとに楽しめるコースの設定により、年間を通してより一層繁閑なく安定的に受入れることのできる体制整備を目指します。
- ⑥商品開発においては各コース上にある町内の民家、農家、商店、工場等の商品開発協力及び受け入れ体制整備を行います。
- ⑦木工製品製造工場、鍛冶屋、お茶製造所等を組み込んだ産業観光フットパスコースの構築をはじめとする新コースの開発を行います。
- ⑧フットパス関連グッズ、ボックスランチの新規開発を行います。

美里町の取り組み

- ◆ 集客実績拡大に向けて
 - ・地域観光資源を結ぶ観光ルートの構築・提案を行います。
 - ・イベントなどを通じた集客の仕掛け作りをします。
 - ・町観光パンフレット及び美里町公式観光アプリ『みさとりっぷ』にフットパス関連コンテンツを掲載するとともに、フットパスイベント案内などを町ホームページや広報誌などを通じて広く情報発信します。
- ◆ 地域住民の参画及びホスピタリティ向上等受け入れ体制強化に向けて
 - ・有料ガイドの育成のための養成講座の受講者募集、案内などを町ホームページや広報誌などを通じて広く情報発信します。
 - ・フットパス実施にあたって、各コース上にある美里町が管理する公共施設などを、トイレ・休憩場所として提供します。
- ◆ 美里町Walkers are welcomeタウン構想実現に向けて
 - ・『歩く文化の創造』をテーマに、地域住民、観光関連事業者、行政、商工団体、農業団体で連携し、来訪者を歓迎する取組である美里町Walkers are welcomeタウン導入を促進し、ネットワーク化を目指していきます。
- ◆ 美里町フットパスツーリズム商品群の開発に向けて
 - ・主たる支援機関である美里町商工会と連携し、美里町フットパスツーリズムと関連する観光資源、お土産商品の開発などの支援をします。
- ◆ 美里町フットパスツーリズム商品群の販路拡大に向けて
 - ・旅行商品商談会や各種観光PRブース出展の際に、美里町の核となる観光資源として各種情報提供及びPRを実施し、美里町フットパスツーリズム関連商品群の販路拡大を目指します。
- ◆ その他
 - ・町ホームページでふるさと名物応援宣言を行い、ふるさと名物としての広報を行います。